

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 ハダニ難防除ナシ園へのIPM防除技術の普及

○評価結果：A（良好）

【評価すべき点】

- ・目標は100%以上達成していた。
- ・事前に調査研究活動を行い、その成果を基に講習会や展示ほを設置し、防除方法等を提供していた。また、個別巡回指導によってきめ細かく指導していた。
- ・特定の防除方法だけではなく、生産環境や農家の考え方等に合った防除方法を支援していた。
- ・活動成果は、防除暦の作成、SNSを活用した情報共有、市の助成制度など広く波及していた。

【改善すべき点】

- ・今後、導入農家等の拡大が見込まれる中、普及だけで対応するには限界がある。先駆的な生産者や部会、JAなどに移行していくことが必要である。
- ・消費者、近隣住民へ環境にやさしい、持続的な農業生産に取り組んでいることを発信していくことが必要である。

【その他（要望等）】

- ・技術力のある普及指導員の育成・確保と普及指導体制を強化してほしい。
- ・活動成果等については、動画を使って分かり易くするなど積極的に情報発信してほしい。

○評価に対する改善策等

【改善すべき点】

- ・これまでの普及指導活動では、巡回指導の中で生産者やJA営農指導員に対し、技術の習得を目指し指導してきました。今後はIPM防除を生産者自らの手で実践できるように、生産者同士で観察する機会を増やし、ハダニ類や天敵の発生状況を見ながら選択性農薬を利用する防除方法について、生産者及びJA営農指導員の技術向上を図ります。
- ・JA等が行う消費者や市民に向けた情報発信の中で、農業者の優良な取組事例がより多く発信されるように働きかけや必要な助言等を行います。

【その他（要望等）】

- ・普及指導員の経験に応じて各種研修を実施することにより、技術力のある普及指導員を育成確保するとともに、普及指導体制の強化についても努めていきます。

○次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）

この重点課題の計画活動は、当初の目標を達成したため、今年度で完了します。

令和4年度から一般普及指導計画に位置付けて、IPM防除技術の拡大及び生産者やJA営農指導員に対する技術向上を支援します。

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 農業後継者の育成

---

○評価結果：A（良好）

【評価すべき点】

- ・目標は概ね達成していた。
- ・個々の農家の経営状況等をよく把握しており、経営の発展段階に応じたきめ細かい支援が行われていた。
- ・中小企業診断士など外部の専門家との連携が上手くできており、農家の課題に対して的確に橋渡しができていた。
- ・県の補助事業を農家に紹介し、必要な設備導入に繋がっていた。

【改善すべき点】

- ・今後、より多くの農家が受講できるようオンライン講習の実施や情報提供について検討する必要がある。
- ・消費動向を踏まえ、総菜加工業者や小売店と連携した新たな品目や減農薬、有機農業といった栽培方法など様々なニーズに応えられるよう農商工連携や異業種交流、さらには観光農業に関するノウハウなどのメニューを講座に加えるとよい。

【その他（要望等）】

- ・講座等については、内容も含めて農家が参加しやすいように工夫してほしい。
- ・普及指導活動について、もっと積極的にPR、情報発信してほしい。

○評価に対する改善策等

- ・セミナーや講習会にあたって、会議室等集合開催に加え、Zoom、YouTube 等によるオンラインと会議室等集合とを組み合わせで開催します。
- ・就農後の経営発展段階に応じて、6次産業化や農商工連携、観光農業等の紹介、先進的な取組みをしている農業者の事例紹介等を講座に組み入れます。
- ・JA 等関係機関の協力を得て、関係機関の広報誌へ普及活動事例を掲載するほか、ホームページやTwitter を活用した情報発信を行います。

○次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）

- ・令和4年度から普及指導計画に位置付けて取り組みます。

外部評価結果及び反映状況等について

課題名 計画的な繁殖による後継牛の確保支援

○評価結果：A（良好）

【評価すべき点】

- ・目標はすべて達成していた。
- ・農家の課題と今後の方向性等を把握し、状況に合わせた繁殖計画の作成やO P U導入を支援していた。
- ・限られた体制で4、5年掛けて収益性を改善するという、中期的な普及指導活動であるが、月1回の訪問指導を実施するなどきめ細かく支援していた。
- ・畜産技術センター研究課、家畜保健衛生所、管理獣医師等の関係機関と適切な役割分担により、密接な連携、情報共有が行われていた。

【改善すべき点】

- ・売上により経済性が評価されていたが、今後は所得、利益を提示する必要がある。
- ・他地域へ波及するためにも自由に閲覧できるよう動画などを使ったオンラインで情報提供していくことが必要である。

【その他（意見・要望）】

- ・今後も個々の農家と向き合い、きめの細かい支援を継続してほしい。
- ・収益が向上するまで時間を要するため、農家のモチベーション維持できるよう普及指導員の異動があっても活動が継続できるようにしてほしい。

○評価に対する改善策等

- ・支援対象の経営体に対して、可能な限り経営数値を提供してもらい、所得や利益といった経営全体に対する、交配プラン実行による経済性の検証に努めます。
- ・当所のホームページで、今回の外部評価のプレゼン資料を動画として公開するとともに各種勉強会等での情報提供に努めます。
- ・今後も個々の農家に対して農家の経営状況に合わせたオーダーメイドの支援を行います。
- ・人事異動に左右されない課内の技術伝承の仕組みづくりに取り組みます。

○次年度以降の普及指導計画への反映状況（又は反映予定）

- ・令和4年度の重点課題として「計画的な繁殖による後継牛の確保支援」を位置づけ、計画を策定しモデル農家の継続支援を行います。